

まちなか倶楽部 (西出町歴史資料館)

堂々完成

黒光りするいぶし瓦、造形美見せる銅の樋、白く輝く漆喰の壁とうだつ、侘寂の出た敷石、情緒漂う格子戸の玄関、そして、磨き上げられた櫺の館名板、それが『まちなか倶楽部』(西出町歴史資料館)の姿です。兵庫区西出町の自治協議会が主体となって、“まちの活性化”を願い、専門家やボランティアの協力のもと、セルフビルド方式を取り入れて建設を進めてきた、まちなか倶楽部が10月14日完成を迎え、華やかな式典が執り行なわれました。

6月8日に着工して以来、例年にない猛暑の中、土・日曜日を主に約4ヶ月間、作業を行いました。特に専門的な技術を要する瓦工事や、左官工事、設備工事などは、すっかり職人さんのお手伝いばかりとなってしまうが、土を掘ったり、コンクリートを打ったり、建て方・上棟も重機を用いず自分たちで行いました。

完成式では関係者挨拶、来賓祝辞に続き、片岡一夫自治協議会長から、建築家の武田則明さん、建設の原動力となってくださった神戸芸術工科大学のみなさん、神戸市建築協力会と職人さんに感謝状が贈呈されました。また、まちなか倶楽部に館名板を寄付されたほか、千石船の模型展示により、地域の歴史の紹介に貢献されたマルナカ工作所の中田武治社長に、まちづくり協議会の岩井孝之歴史委員会会長から、感謝状が贈呈されました。

問い合わせ先 神戸市住宅局地域支援課 Tel078-322-5646

お祝儀として地元に残る伝統文化の兵庫木遣音頭ひょうごきやりおんどが披露されました。また、建物内には、建設の歩みが紹介されたほか、小磯良平氏作「第2回神戸みなとの(昭和9年)」のポスターをはじめ、大和型弁財船の



模型や元禄・兵庫津絵図などが展示されました。

今後は、まちづくりの拠点として、地域に残る貴重な資料を展示・公開していくほか、交流の場として開放されますので、是非お立ち寄りください。(地元の方の絵画展なども予定されています)



開館時間は土・日の午後4時1時まで

神戸から何を学び、神戸が何を学んだのか



「いま」、そして「未来」の子どもたちのために 私たちができること

全国への感謝と復興する神戸を発信し、人々の絆を結び、まちづくりに向けた市民と協働の「社会実験」ともいえる「KOBE2001 ひと・まち・みらい (神戸 21 世紀・復興記念事業)」の終了にあわせて、9月29～30日「国際ボランティア年 市民サミット in 神戸」が開催されました。

「KOBE2001 ひと・まち・みらい」のさまざまな取り組みのなかで、従来型でない、市民・ボランティアと行政の新たな協働や新たなネットワークが生まれ、



市民一人ひとりのまちづくり意識が「自律と連帯」へと大きく変化してきました。こうした中で、震災を振り返りながら、「神戸から何を学び 神戸が何を学んだのか」を語り合い、再会や新たな出会いの場として、「市民サミット in 神戸」が開催され、のべ2000人が参加しました。

「希望の灯り」が結んだ69都市からの市民・ボランティア・行政マンなど130名余りを含む320名の参加者は、6つのワークショップに参加し、震災をきっかけとした様々な気付きと学び、市民参画と協働について語り合いました。

このほか、各都市のご好意による食材を使った「都市間ネットワーク鍋」などの「全国料理自慢広場」や、「もいちど出会えてありがとう祭」、さまざまな展示、泊り込みで参加した「模擬避難所」など盛りだくさんの内容があり、早朝未明の「ありがとう」の竹灯籠の点火と黙祷では、参加者の思いがひとつになりました。

この催しは企画から準備、当日の運営に至るまで「一人ひとりができることをする」というボランティアな行動により、すべて市民の手作りで開催されました。



こうした取り組みや市民の思いを集約して、夜を徹して起草された「市民宣言」は、ボランティアパレードを経て、「KOBE2001 ひと・まち・みらい」の閉幕式典で発表されました。

この成果が幅広い市民に広がることと併せて、私たち職員も、一人の市民として、この宣言を心にとめておきたいものだと考えています。

(市民局広報相談部市民活動支援課)

市民宣言

1995年1月17日 午前5時46分

阪神・淡路大震災

あの日あの時、多様な市民が自らの意志と責任で動きはじめ

そこに新しい出会いが生まれました。

市民が市民を支える活動は、その後各地で起こった災害救援にも活かされています。

今日、ここ神戸に集った私たちは、人と人との絆の大切さを改めて確認しました。

その絆は「1.17希望の灯り」によって、まちからまちへと広がっています。

震災をきっかけとして芽生えた市民の自発的な活動が、社会に根を張り

「市民社会」という実をみのらせるためにも

市民と行政とを結びつなくみの大切さを学びました。

私たちは、市民サミットで得た多くの知恵と思いを

自分たちのまちに持ち帰り、より多くの方々に伝えます。

そして「いま」、そして「未来」の子どもたちが

「このまちが好き」と誇れる社会をつくることをここに宣言します。

2001年9月30日

市民サミット in 神戸 参加者一同

タイムテーブル

9/29

- 11:30 ◎オープニング・吾妻太鼓
 - ◎テレビ電話中継(有珠、仙台、島原から)
 - ◎全国料理自慢広場
 - ◎「もいちど出会えてありがとう祭」
 - 13:30～17:30
 - ◎市民サミット WS 分会
 - ・「ボランティアの原点」「市民力」「ボランティアな市民社会」
 - ・Do Shirouto まちづくり名人会(テーマ型 WS)
 - ・「絆」「感謝」「人と人との融合」「5人いればできる」
 - ・「神戸らしさ」「神戸が好き」「神戸からの発信」
 - ・69都市間ネットワークづくり WS (テーマ型 WS)
 - ・子供 WS「忍者」
 - 17:30 ◎模擬避難所設営
 - 19:00 ◎救援物資の搬入
 - 19:00 ◎「WS分会(教室)単位のまとめ」を順次発表、避難所経験者の体験談などテレビ電話で有珠・仙台・島原も参加
 - 23:00 ◎朝ナマ WS・市民宣言起草
- 9/30
- 4:00 ◎「ありがとう」竹灯籠の点火
 - 5:46 ◎黙祷
 - 5:51 ◎日の出・炊き出し
 - 10:00 ◎市民宣言採択
 - 10:15 ◎ボランティアパレード出発
 - 11:30 ◎「市民宣言」発表(閉幕式典にて)

“セン太ちゃん、ベトナムに行く！”

～ベトナム事情 その2～

「ベトナムの都市事情について」



今回は、「まち」に関するものを選んで皆さんにお話したいと思います。

セン太ちゃんの朝はハノイ市内のホテル6階の部屋で始まります。朝、起きて窓のカーテンを開けるとすがすがしい光に照らされたハノイの街並みが眼下に広がります。その風景には何か暖かいものを感じます。

「歩いてみたい！」そう感じさせるには充分な魅力を持ったまち、それがハノイです。

1. 都市の現状

○まず道路などの事情について

まちを知るには、歩いて、そして人に触れ、まちの空気を体感することです。セン太ちゃんは、まず「まち歩き」から取り組んでみることにしました。

まちに出たとたん、やはりバイクや自転車等の数の多さに驚いてしまいます。歩行者は道路の横断だけでも命がけです。また、舗装も凸凹でお世辞にも歩きやすいとは言えません。さらに歩いていると、ボトルネックになっている箇所も結構あることに気がきます。他にも橋が少ないことや踏み切り、平面交差点ばかりで立体交差がないこと等にも気付いていきます。交通渋滞は交通量の多さだけが原因ではないようです。

いいところもたくさんあります。改めて見ると道路は広いし、歩道も街路樹も立派です。地図を見ても中心市街地から放射状に伸びている幹線道路網や市内中心部の都市内道路網で構成されています。点在する広い公園や湖。由緒ある寺や洋館。まち中の喧騒とは違って変わって静かでのんびりした雰囲気漂います。



暑い日差しを避けて街路樹の下で、おばさんが座り込んで食べ物を売っていたり、バイクタクシーが客待ちをしていたり、子供が遊んでいたります。みんな笑顔で、元気で、まちには人と活気があふれています。

○次に住宅事情について

セン太ちゃんは、ちょっと路地に入ってみることにしました。

表通り以外は、地図にも載っていませんが、そこには、所狭ましと家が建て込んでいたくさんの人の生活がありました。路地にはオープンな笑い声が響き渡っています。

ベトナムの住宅規模は全国平均で7㎡/人、都市部では5.7㎡/人です。日本の全国平均は31㎡/人ですから結構大変な状況のようです。

○そして、まちの特性について

川べりまで足を伸ばすと、まちを取り囲むように「堤防」があることに気がきます。川が氾濫した時、まちを守るため開閉式の扉を閉めるらしいのですが、堤防の川側にもちゃんと民家があって3年に1度は1階全部が浸水してしまうそうです。「ほんの3年に1度です」と笑うハノイの人を見て、また感心してしまったセン太ちゃんでしたが、これは下水計画にも影響し、結構、都市計画家の頭を悩ませているようです。

なんか一見大変な「まち歩き」ですが、なんとなくいい空気に触れたような、「元気」がもたらした「ハノイ歩き」でした。

2. 都市計画制度等

少しベトナムの制度等についても触れておきたいと思います。まず、土地については国有地ですが、土地改革により使用权が個人と法人に与えられ、その売買、譲渡、相続も自由ということになっています。また、都市計画制度については概ね、旧ソ連のものに準じていて、「都市マスタープラン」が都市計画の方向性を示しています。ただ、それ自体には土地利用等の拘束力はないようです。

1999年3月開催の都市開発会議では、2005年までに全都市区域の「都市マスタープラン」を策定するとされました。ハノイ市やホーチミン市等では既に「マスタープラン2020」が策定されており、両市とも2020年には人口が倍増し都市圏が大幅に拡大すると見込んでいて、新都心や郊外拠点などの分散型の都市構造の形成とそれを支える道路網の構築を目指しています。

「これ以上人口が増えて大丈夫？」ちょっと心配になるセン太ちゃんでした。

橋本宗明（都市計画局まちづくり支援室主査）



まちセンイベント情報

“親子で探検・昔の路地まち”

～歩いて、探して、見つけよう！まちのお宝～

今年の親子まち探検は、漁港のたたずまいを残す駒ヶ林地区をタウンウォッチングします。懐かしい下町のお宝を親子で探しましょう。

参加ご希望の方は、往復ハガキでお申し込みください。

- ◎ 募集：30組（多数のときは抽選します）
- ◎ 日時：11月18日（日）午後1時～午後5時
（受付は、午後0時30分から行います）
- ◎ 集合場所：長田区駒ヶ林会館
（詳しくは、参加者に直接お知らせします）
- ◎ 参加者：小学生を含む親子を原則とします。
（1家族3人以内でお願いします。）
- ◎ 申込方法等：往復ハガキに、

参加者名（小学生を分かるようにしてください）・住所、電話番号を明記の上

11月10日（土）までに

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

こうべまちづくりセンター 宛に

返信用	親子で探検参加
お名前	ご住所
様	電話番号
	お名前（保護者）
	お名前（小学〇年）

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テ ー マ	主 催 者
11月 1日(木)～ 6日(火)	三菱重工洋画部第23回CPM展	三菱重工神戸造船所洋画部
11月 8日(木)～27日(火)	まちづくり会館ギャラリー秋の企画展 神戸市立小磯記念美術館 コレクション展 2001 会館時間：午前10時～午後6時 休館日等：水曜日・入場無料	こうべまちづくりセンター 神戸市立小磯記念美術館
12月 6日(木)～11日(火)	第15回「朝の会」制作展	朝の会

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

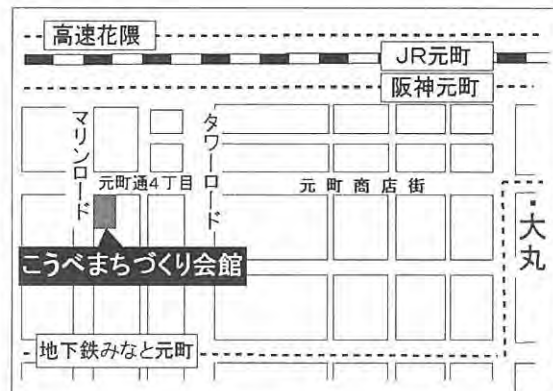
11月1日(木)～30日(金)	景観ポイント賞入選作品展	都市計画局アーバンデザイン室
-----------------	--------------	----------------

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
（こうべまちづくり会館 3F）
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は
事前に、ご連絡ください。

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）
会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
受付：午前10時～午後6時（水曜・年末年始は休館）
電話 078-361-4565



最寄駅

- 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
- 高速花隈駅東口から3分
- 高速西元町駅東口から5分
- JR・阪神元町駅西口から8分